

国公立大学図書館協力委員会平成24年度活動報告
(上半期：平成24年4月～24年10月、秋季の予定を含む)

I 委員会構成及び活動記録等

I-1 委員長館

平成23年9月1日～平成24年7月31日 筑波大学

平成24年8月1日～平成25年7月31日 横浜市立大学

I-2 委員館 (*常任幹事館)

国立大学 *東京大学、*筑波大学、京都大学、名古屋大学

公立大学 *横浜市立大学、*大阪市立大学 (平成24年8月より常任幹事館)
首都大学東京

私立大学 *慶應義塾大学、*早稲田大学、立教大学、明治学院大学、
広島修道大学、関西大学

I-3 会議

1 本会議

1) 第72回国公立大学図書館協力委員会

期 日 平成24年7月27日 (金)

会 場 京都大学附属図書館

2) 第73回国公立大学図書館協力委員会【予定】

期 日 平成24年11月16日 (木)

会 場 慶應義塾大学

2 常任幹事会関係

1) 平成23年度第2回常任幹事会

期 日 平成24年7月27日 (金)

会 場 京都大学附属図書館

2) 平成24年度第1回常任幹事会【予定】

期 日 平成24年11月16日 (木)

会 場 慶應義塾大学

3 連携・協力推進会議

1) 第4回

日 時 平成24年7月20日 (金)

場 所 国立情報学研究所

4 国立国会図書館関係

1) 第15回国立国会図書館と大学図書館との連絡会／第13回学位論文電子化の諸問題
に関するワーキング・グループ

期 日 平成24年10月16日 (火)

会 場 国立国会図書館東京本館／関西館 (*テレビ会議システムを利用)

2) 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会【予定】

期 日 平成 24 年 11 月 16 日 (木)

会 場 国立国会図書館東京本館

5 著作権関係

1) 第 50 回 著作物利用に関する図書館団体懇談会

期 日 平成 24 年 5 月 17 日 (木)

会 場 東京大学附属図書館

2) 第 33 回 図書館における著作物の利用に関する当事者協議会

期 日 平成 24 年 6 月 7 日 (木)

会 場 日本書籍出版協会

3) 第 51 回 著作物利用に関する図書館団体懇談会

期 日 平成 24 年 8 月 27 日 (月)

会 場 日本図書館協会

4) 第 34 回 図書館における著作物の利用に関する当事者協議会

期 日 平成 24 年 10 月 4 日 (金)

会 場 日本図書館協会

I-4 事業

1 大学図書館シンポジウム【予定】

テーマ 質的転換を図る大学教育と図書館

期 日 平成 24 年 11 月 22 日 (木)

会 場 パシフィコ横浜 (第 14 回図書館総合展第 2 会場)

備 考 日本図書館協会大学図書館部会と共催

2 出版

1) 大学図書館協力ニュース

Vol.33 No.1~3 発行

2) 大学図書館研究

No.94(2012.3.31), No.95 発行

3 国際図書館コンソーシアム連合 (ICOLC) への派遣

1) ICOLC 2012 年秋季会議

期 日 平成 24 年 10 月 14 日 (日) ~ 10 月 17 日 (水)

場 所 ウィーン (オーストリア)

派遣者 高橋 政江 (上智大学) 柴田 育子 (一橋大学)

II 春季理事会 (平成 24 年 5 月開催) 以降の主要な事項

II-1 (第 72 回) 国公立大学図書館協力委員会関係

1 協力委員会の組織について

公立大学からの要望により、公立大学選出の常任幹事館を 1 館増やし、2 館とした。また、本協力委員会委員長館が日本図書館協会大学部会長を兼任しているが、公立大学に関しては、2 つの委員館 (横浜市立大学、首都大学東京) で分担することとなった。

2 著作権関係

図書館の著作物の利用に関する当事者協議において、著作権法第31条第1号における「定期刊行物の発行後相当期間」を表示する件について現在協議をしている。

3 ICOLC への派遣について

2012年秋季ICOLCより、JUSTICEに派遣者の選定、関連事務を委託した。

II-2 第4回連携・協力推進会議（平成24年7月20日開催）関係

1 連携・協力推進会議の下に設置する新委員会の発足承認

昨年度の12月に開催された国公私立大学図書館協力委員会及び同じく2月に開催された第3回連携・協力推進会議で協議された総合目録DBの強化に関する委員会の設置が、承認された。

設置目的は、NIIと国公私立大学図書館協力委員会の連携・協力の推進に関する協定書の(3)電子情報資源を含む総合目録DBの強化、(4)学術情報の確保と発信に関する人材交流・育成、(5)学術情報の確保と発信に関する国際連携推進(4,5は3に関連するもの)、である。詳細は下記資料を参照されたい。

8-2. これからの学術情報システム構築検討委員会規程

8-3. これからの学術情報システム構築検討委員会・委員名簿

8-4. 第4回連携・協力推進会議(2012.7.20)資料 No.7-2

2 機関リポジトリによる知の発信システム構築に関する委員会の設置検討の承認

同じく協定書の(2)機関リポジトリを通じた知の発信システムの構築、及び(4)(5)(4,5は2に関連するもの)を推進するための委員会の設置(平成25年度)を検討したい旨の提案がNIIからあり、承認された。

8-4. 第4回連携・協力推進会議(2012.7.20)資料 No.7-2

3 SCOAP3 について

NII、KEK、国公私立大学図書館協力委員会がEoI(Expression of Interest)を取り交わしたCERN(欧州原子核研究機構)によるSCOAP3が入札を終え、オープンアクセス化の対象となる12誌が決定した。CERNとの間でMoU(Memorandum of Understanding)を交換する準備を行うために、連携・協力推進会議の下にタスクフォースを設置することが承認された。(窓口となっているNIIから詳細報告)

II-3 国立国会図書館関係

中央教育審議会大学分科会大学院部会で、「学位論文(博士論文)の公表に関する現状と課題について」と題して、学位規則について審議がされており、今後は電子的な公開を原則とすることが議論されている。

6月の国大図協総会のマネジメントセミナーで、国会図書館長から紹介された「東日本大震災アーカイブ」の構築の大学図書館への協力依頼があり、11月に開催予定の「国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会」で正式に依頼がある予定である。